

2024年

令和 6 年度 事業報告書



N P O 法 人 共 働 の ま ち 大 野 城

令和 7 年 5 月

令和6年度は、『創意工夫』をテーマに掲げ、地域課題の解決に向けてさまざまな取り組みを展開しました。地域の皆さま、行政機関、関係団体、そして多くの市民の皆さまと力を合わせ、「共に支えあうまちづくり」の実現に向けたさまざまな取り組みを進めてまいりました。コロナ禍を経て地域活動が徐々に再開する中、私たちの活動にも変化が求められる一年であったと感じております。

一方で、地域の担い手不足や、世代間の交流の希薄化といった課題も引き続き浮き彫りとなり、持続可能な仕組みづくりの重要性を再認識した一年でもありました。これらの課題に対しては、NPO法人ならではの柔軟性を活かしながら、行政と連携した中長期的な視点での取り組みが必要であると感じております。

令和7年度は、より多様な主体との共働を広げ、新たなチャレンジにも取り組んでまいります。引き続き皆さまのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年4月

NPO法人 共働のまち大野城

理事長



穴井 芳春

名 称	NPO法人共働のまち大野城		
設 立	平成31年4月1日		
所在地	福岡県大野城市南ヶ丘5丁目9番1号		
会員数	正会員		
	(個人) 33人	(団体) 30団体	
	賛助会員		
	(個人) 86人	(団体) 10団体	





令和 6 年度事業計画

- ▶大野城市のイベントに積極的に参加し、事業の周知啓発とともに、SNSや市報掲載、コミュニティ通信、館内掲示等を活用し幅広い世代に向け新規おタスケさんの募集に努める。
- ▶おタスケさんに対して地域課題及びボランティア活動に関する情報提供を行うとともに、未活動のおタスケさんを洗い出し、活動依頼に偏りがないよう努める。また活動の依頼時にLINEなどの新たなツールを活用しスムーズな事業の遂行と業務の効率化を目指す。
- ▶地域で開催の会合等にて事業説明を行い、お困りごとを抱えた市民への利用促進及び、おタスケさんが活躍する場の拡大に努める。

事業報告

《実施状況》

- ・担当者会議 **6**回
- ・おタスケさん交流会 **8**回
- ・おタスケ新聞 11号、12号の発行
- ・おタスケさんアンケート **1**回
- ・未活動のおタスケさんの洗い出し月間（令和7年2月～3月）
- ・PR活動（イベント参加）
- 「キッズフリーマーケット」「えきサイト！春日原オータムフェスタ」
- ・周知件数 **55**件

【各地区おタスケさん登録内訳】（ ）は令和5年度

おタスケさん総合計 3月末 **203**人

南地区
73人
(70人)

中央地区
55人
(55人)

東地区
37人
(35人)

北地区
38人
(39人)

- ・新規登録28人
- ・登録解除24人

解除理由：仕事が忙しくなった、親の介護や引っ越しなどで活動が難しくなった。

【周知件数】

組長会や地域の様々な定例会等で事業説明会を13回実施し事業PRに努めたことで、新たに**176**人が利用した。また、市内イベントに参加しノベルティグッズを300個配布しながら事業PRを行い、イベント当日**2**人のおタスケさん獲得につながった。新規おタスケさん登録者は合計で**28**人。

区、関係機関での事業説明会			
4月	東地区福祉部会	7月	ダーツ教室in東コミ
	南ヶ丘おやじの会	9月	東大利区組長会
5月	南地区民生委員定例会	10月	東地区シニアクラブ
6月	牛頸公民館	12月	東地区おやじの会
	中央地区民生委員定例会		
	東大利公民館三役	2月	乙金シニアクラブ
	大野幼稚園保護者会2回		



「キッズフリーマーケット」でのおタスケさん登録会の様子



事業説明の様子

【ボランティア活用促進】

「おタスケ新聞」を2回発行し、おタスケさんへ情報提供を図った。未活動のおタスケさんを洗い出し、全員に活動依頼を行なった。活動の依頼時に「LINE」を活用することで、スムーズな依頼と返信を受けることができています。また、依頼の履歴が残ることで、連絡ミスを防ぐことができています。



おタスケさん大募集チラシ

【交流会】

「交流会」を各地区2回の合計8回開催し、おタスケさんの更なるボランティアに対する意欲向上となるように努めた。



交流会 中央・苔玉づくりの様子



交流会 東・北合同ダーツ大会



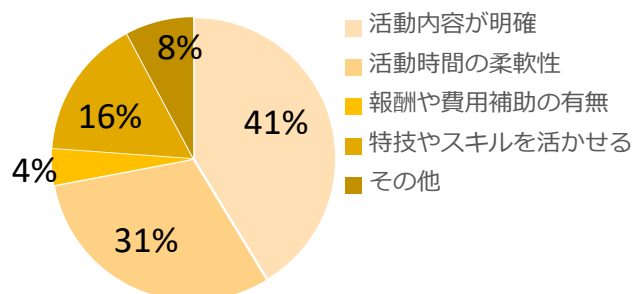
交流会 南・ラダーゲッターの様子

【おタスケさんアンケート】 令和7年2月実施

対象：おタスケさん209人 記入:84人 Googleフォーム：30人 回答率：55%

おタスケさんへ「ボランティア活動」についてアンケートを実施。思い出に残る活動や、ボランティア活動に対する考えを調査し、改めておタスケさんのボランティアに対する熱意を感じることができた。

Q1.活動に参加する上で重要だと思うことは？（複数回答）



ありがとう券 お渡しの様子

成 果

相談件数
目標2,300件

2,311件
前年2,279件
達成率
100%

活動件数
目標2,000件

2,002件
前年1,954件
達成率
100%

新規おタスケさん
登録数
目標30人

28人
前年20人
達成率
93%

周知件数
目標50件

55件
前年60件
達成率
110%

課 題

- ・社会情勢の変化及び多様化する市民ニーズに伴い、対応が困難な相談が増加傾向にある。このためより的確かつ迅速な対応を図るには関係機関との連携強化が不可欠である。



令和6年度事業計画

- ▶ 学校との連携を強化し、公益活動及びプラットフォーム事業の説明会を開催し、若い世代へのボランティア活動に対する意識の醸成を行う。
- ▶ 団体・個人登録の増加につながるよう、区や関係機関への事業説明会を実施し、周知啓発に努める。
- ▶ まどぶら登録者が継続的に活動できるよう、活動登録に関する各登録団体へのフォローを強化する。

事業報告

「実施状況」

- ・ 担当者的会議 **12** 回 作業部会 **2** 回
- ・ 連絡会議 **1** 回
- ・ 団体アンケート **1** 回

【学校との連携】

小学校**3**校と中学校**1**校にプラットフォームの説明会を行った。

プラットフォームの登録団体となった月の浦小学校では「月の子クリーンアップ作戦」という内容で、登校時のゴミ拾い活動を実施し、小学生のボランティアへの意識の醸成につながった。



月の浦小学校「月の子クリーンアップ作戦」活動風景



月の浦小学校にて説明会

【周知啓発】

11月に開催された「えきサイト！春日原オータムフェスタ」にて事業のPRを実施し、当日**6**人のまどぶら個人登録につながった。また、主催である登録団体に対し、活動登録の見直しや当日のフォローを行った。



「えきサイト！春日原オータムフェスタ」での活動風景

【学校・区・イベント等での活動】

ボランティア講座実施			
4月	御陵中学校	317人	全校生徒
5月	月の浦小学校	460人	全校児童
5月	大野南小学校	141人	3年生
6月	平野小学校	97人	4年生
地域の清掃活動実施			
6月	南地区地域貢献活動	328人	小中学生
11月	南地区キットパスアート（南コミ内）	28人	平野中学校生徒
イベント			
8月	夏休みわくわくアート作品展	40人	市民
11月	えきサイト！春日原オータムフェスタ	300人	市民

区へ事業説明会		
5/12	大池区	組長会
6/1	牛頸区	組長会
6/14	中大利区	組長会
6/30	上大利区	組長会
7/9	下大利区	組長会



大野南小学校にて説明会

【令和6年度 地域活動団体交流会（プラットホーム連絡会議）】

【令和6年7月5日実施 場所：南コミュニティセンター】

参加人数：登録団体40人・市職員5人・PS職員12人

実施内容：①運営管理者より運営状況報告、モデル団体活動報告
②グループワーク「小中学生が参画できる活動登録」



地域活動団体交流会
（プラットホーム連絡会議）

グループワークでは、タブレットを使用した活動登録を実践し、活動分野の違う団体同士で意見交換と発表を行った。また、今回は新しく団体のPR時間を設け、活動内容を知ることによって団体同士の新たなつながりや交流のきっかけとなった。

【団体アンケート】 令和6年11月実施

配布数：106団体 回答率：94%

市民公益活動促進プラットホーム事業の活性化を目的とし、登録団体に向けてアンケートを実施した。今年度は「ポイント制度」に魅力を感じている団体が増えており、活動の参加につながっていることがわかった。

Q1. 同事業について、魅力を感じていることはなんですか。（複数回答可）

	内容	令和6年度
A	情報の入り口であるポータルサイト	22%
B	活動の後押しとなるポイント制度	84%
C	団体同士の連携ができる連絡会議	21%
D	特にない	9%

Q8. より多くの市民に地域活動への関心向上や地域団体の活動周知を目的とする「ボランティアの1日体験プログラム」に興味はありますか？

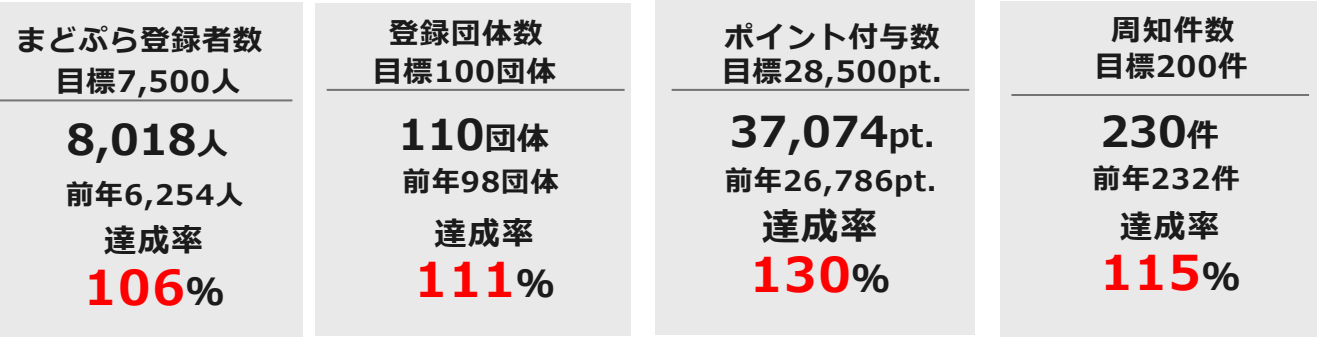
	内容	令和6年度
A	興味がある	34%
B	興味はない	34%
C	その他	24%
-	未回答	8%

より気軽にボランティア活動に参加できる仕組みづくりとして、Q8「ボランティアの1日体験プログラム」についての回答では、団体からは好意的な意見が多く、今回のアンケート結果と分析を踏まえ、団体の声を反映させた取り組みを進めていく。

【R6年度団体フォロー】



成 果



	令和4年度	令和5年度	令和6年度
団体数	83団体	98団体	110団体
活動登録件数	5,392件	5,802件	6,548件
まどぶら登録者数	4,995人	6,254人	8,018人※
1人当たりの 平均pt付与数	4.9pt	4.2pt	4.6pt

※まどぶら登録者のうち、公益活動のみ2,795人、健康ポイントのみ2,601人、両方活用816人、未活動者1,806人 合計8,018人

課 題

- ・まどぶら登録者数の増加に対し、ポイント付与数（活動数）が伸びていないため、団体と連携し気軽に参加可能な公益活動の仕組みづくりが必要である。
- ・健康ポイントでのまどぶら登録者が、公益活動への関心を高め参加へとつながるような広報の強化が必要である。
- ・ポータルサイトの活用が進んでいないため、システム改修と併せて利便性、視認性の向上を図る必要がある。



令和6年度事業計画

- ▶ サロンボランティアが、地域の担い手として活動できるようフォローを適宜行い、活動しやすい環境を目指す。
- ▶ 地域や企業などと繋ぎ、ボランティアの活動の場が広がるよう支援する。
- ▶ 地域の居場所としてサロン活動が活性化するようにSNSやコミュニティ通信、チラシ・ポスターを活用し周知啓発を強化する。

事業報告

《実施状況》

・ 担当者会議 5回 ・ 育成 10件（卒業） ・ サロンボランティアフォロー 49回

【活動フォロー】

囲碁将棋サロンは夏休み期間に小中学生も参加しやすいようSNSなどでPRを行い、家族連れや小学生の参加につながるなど、参加が増えるよう工夫を凝らして活動した。また事業の趣旨・目的を明確にするため手引き・申請書を見直し、スポーツ系サロン（まどかスポーツ）とのすみ分けや、改めてサロンの目的「情報交流の場」や「気軽に参加できる場」を分かりやすくしサロンボランティアと共有することができた。



小学生参加の様子

【地域での活動（学校・地域との連携）】

北コミの「囲碁将棋サロン」では、大野北小学校のクラブ活動にゲストティーチャーとして全9回訪問し、将棋を通して児童たちと楽しく交流することができた。また、東コミの「いきいきダーツサロン」を、市内小学校のランドセルクラブや使ってバンクおタスケさん交流会での活動につなぐなど、学校や地域のニーズに沿った中間支援を行ったことで、地域の担い手としての活動の場を提供することができた。



交流会でのダーツの様子

【周知件数】

南コミの「ウクレレサロン」「笑いヨガサロン」は、地域の居場所として活性化するように周知やサポートを行ったことにより、ケーブルステーションの番組に取り上げられより広く周知ができた。

サロンチラシに2次元コードを載せコミュニティセンターHPにアクセスしやすくし、HP内のイベントカレンダーを積極的に活用した。



コミセンHP
イベントカレンダー



コミセンHP
2次元コード



サロンポスター



サロン一覧チラシ

成果

新規サロン数 目標 5サロン 5サロン 前年3サロン 達成率 100% 3月末22サロン	参加者数 目標 5,000人 4,508人 前年6,087人 達成率 90%	新規ボランティア数 目標 10人 22人 前年27人 達成率 220%	周知件数 目標 450件 455件 前年353件 達成率 101%
---	--	---	---

コミュニティセンターのHPを活用し、広く周知したことで、手引き等を見直したことで、新規のサロンボランティアは目標を大きく上回ることができた。一方で、参加者数は目標未達となったため、PRの方法や既存のサロンボランティアのフォローを強化していく。

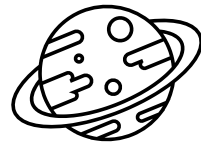
課題

- ・ サロン事業の目的を整理し地域のニーズに沿った事業内容となるよう検討していく必要がある。
- ・ 参加者数の目標設定など、サロンボランティアの育成となるような支援体制の強化が必要である。



令和6年度事業計画

- ▶ イベント時の観測会場設置場所や周知方法を工夫し、参加者の増加につなげる。
- ▶ イベント開催時に、スタードームまどかのPRができるような導線を考案する。
- ▶ 新しい講座内容を考案し、天文科学講座の参加者の増加を図る。



事業報告

《実施状況》

・担当者会議 6回 作業部会 2回

【天体イベント】

今年度特に参加者が多かったのが、7/7七夕（季節イベント）で日曜日と晴天が重なり**91人**の参加があった。また、8月夏休み期間の参加者が昨年より多く、季節イベントの参加者数は昨年度を上回った。

一方で今年度は大文字まつりの天候不良、産業展の中止と市内イベントでのPRが出来ず、参加者数が目標未達となった。



7/7(日)七夕の様子

【新たな取り組み】

ランドセルクラブ出前講座のメニューを昨年度まで行っていた太陽メガネ工作から「かさ袋口ケット工作」と「紙コップでつくるロボットアーム工作」に変更しPRした結果、**6校**から依頼があり、開催回数**9回**、**308人**の児童が天文や科学に触れることができた。

北地区芸能文化発表会に合わせて「スタードームまどか見学会」を開催した。これまで観望会に参加したことがない市民に広く周知することができた。

西日本新聞のWeb版でイベントの紹介や視察訪問した久留米城島ふれあいセンターに天体スケジュールチラシ・パンフレットの掲示を依頼し、市内外に広く周知を行った。



ランドセルクラブ
かさ袋口ケット



スタードームまどか見学会
の様子



視察訪問



西日本新聞me

成 果

【青少年育成・担い手発掘】

雨天曇天時のお話会の中で、メモをとりながら熱心に話を聞く子どもの様子が見られたり、小学生ボランティアがお話会の講師をするなど、天体事業を通して青少年育成に貢献することができた。また、担い手となる40～50代のボランティアが定着してきた。



小学生ボランティアによる
お話会の様子

内容	回数	参加者数（前年度）	参加ボランティア数
市民星空観望会	24	862(1,122)	130
季節イベント	11	783(638)	35
天文科学講座	4	127(153)	2
ボランティア養成講座	8	52(31)	2
市内イベント	3	369(1,758)	0
スタードームまどか見学会	1	30 (-)	1
学校出前講座等	9	308(218)	0
ボランティア交流会	4	22(13)	22
未来教室コンパス体験会	1	13(10)	0
計	65回	2,566人 (3,943人)	192人

実施回数
目標 56回

65回
前年57回

達成率
116%

参加者数
目標 4,500人

2,566人
前年3,943人

達成率
57%

登録ボランティア数
目標 48人

54人
前年46人

達成率
112%

周知件数
目標 450件

602件
前年299件

達成率
133%

課 題

- ・本事業及びスタードームまどかの認知度について十分といえないため、周知方法について改善、強化の必要がある。
- ・天体ボランティアのスキルや知識と、（株）TOMITAの専門性を活かした事業展開による参加者の増加を目指す。
- ・青少年育成を目的とした、学校や地域との連携が十分とは言えないため、天体にふれる環境づくり及び場の提供が必要である。



令和6年度事業計画

- ▶ホームページや各SNSなど様々な媒体を活用し、ファンド事業を広く周知する。
- ▶書類に関する見直しを行い、審査会や団体の事業報告が円滑に進むよう改善する。
- ▶助成団体に対する側面的支援として、活動に対するフォローや情報提供を適宜行うほか、団体同士がつながる場を提供することで活動しやすい環境づくりを目指す。
- ▶事業実施報告会を行い、ファンド事業について広く周知するとともに市民の地域活動への意識向上や参加を促す。

事業報告

《実施状況》

- ・担当者会議 12回 作業部会 2回
- ・審査会 2回
- ・事業実施報告会 1回
- ・決定通知書交付式 1回

【令和6年度助成事業】

事業名	団体名	助成年度	助成金額
安全なまち大野城	NPO法人route	3	200,000円
主婦友・ママ友 サポート＆子育て応援事業	スマイルフレンズ	3	200,000円
傾聴活動	大野城傾聴ボランティア「ダンボ」	2	200,000円
地域猫活動	雑餉隈町地域猫の会	1	300,000円
子どもによる地域活動の 実施・発展を目指した事業	Onojoこどもコミュニティ	1	268,000円

【周知件数】

SNS・HPにて、助成団体の取り組みの紹介やファンド事業について周知したほか、市報・まどか号デジタルサイネージなど市民に身近なツールを活用し、周知の機会を増やすことができた。

新たな取り組みとして、プラットフォーム連絡会議のなかでファンド事業の説明を行い、参加者に対して周知を行うことができた。

【書類に関する見直し】

申請募集チラシ・収支決算書・事業実施の手引きの見直しを行い、審査会や団体の事業報告などが円滑に進むよう改善した。

【審査会に関する見直し】

審査会の回数を年2回から1回に見直すことで、申請団体が十分な準備期間を持つことができた。また採択後に実施する決定通知書交付式において、同時に事業説明を行うことができたほか、団体同士の交流の場を提供することができた。

今年度より審査会委員からの事前質問を採用したことで、申請団体が余裕をもって質問に回答することができ、審査会の円滑な実施につながった。

【助成団体フォロー】

事業実施に関してや報告書の作成方法などについて、団体に対するフォローを**112**回行った。また、決定通知書交付式にて交流会を実施し、団体同士が情報共有を行うことでより活動しやすい環境の創出に努めた。



決定通知書交付式の様子

【事業実施報告会】

助成団体および過去の助成団体を紹介するコーナーを新たに作り、ファンド事業を広く周知する機会を設けた。また、第2部では地域団体による講演会を行うことで、市民活動に対しての意識向上を図った。報告会終了後には、参加者とファンド助成団体・講演者との交流の時間が生まれた。

【令和6年6月22日実施 場所：南コミュニティセンター】

参加人数：26人

実施内容：第1部 ファンド事業の説明（動画による事業説明）
団体による事業実施報告会

第2部 講演会 生の声を聞いてみよう！

～高良山の竹林が繋いだ人の輪・地域を巻き込んだ竹林整備とメンマづくり～

講演者 高良山竹林環境研究所 BAMBOO OF KITCHEN 渡辺琢磨 氏



会場の様子



ファンド事業説明



第1部 団体報告会



第2部 講演会

成 果

申請件数
目標5件

6件
前年5件
達成率
120%

団体フォロー数
目標100件

112件
前年101件
達成率
112%

周知件数
目標210件

266件
前年209件
達成率
127%

課 題

- ・審査会の審査方法について現行の書面審査では団体の意向が十分に反映されない恐れがあるため対面審査への移行について検討する必要がある。
- ・団体の支援、フォローができるよう担当者のスキルアップを図る必要がある。



令和6年度事業計画

- ▶先進団体の視察及び研修を実施し、中間支援組織として職員のスキルアップを図る。
- ▶コーディネーターとして市民・地域団体を支援することで、まちづくり推進に努める。

事業報告

「実施状況」

- ・ボランティアコーディネーション力検定2級**合格1人**（3級保持者3人、2級保持者1人）
- ・4地区コミ運協議会**12回**参加
- ・社会福祉協議会・アスカラ・共働のまち大野城とのボランティア情報共有会**4回**
- ・大野東中学校職場体験（北：2日間・東：2日間）

【研修・視察】

外部研修	21回	福岡市NPOボランティアセンター等
内部研修	9回	接遇研修、ハラスメント研修等
視察	3回	福岡市防災センター、福岡市福岡ポイント等
ワークショップ	3回	こども食堂ネットワーク、高架下事業等

成果



【スキルアップ】

令和6年度も多くの研修参加や視察を通じ、職員のスキルアップに努めた。

中でも、ボランティアコーディネーション力検定2級に**1人合格**し、中間支援組織のコーディネーターとして知識・スキルを高めることが出来た。

ボランティアコーディネーション力
検定2級合格

【南っ子すもうフェス】

共働主催：南地区コミュニティ運営協議会、一般社団法人にぎわいづくり協議会、
NPO法人共働のまち大野城

協力：田子ノ浦部屋

南地区コミュニティ運営協議会と共催し、地域資源である「田子ノ浦部屋」の力士を招き、力士との相撲大会やレクリエーションを行い、普段なかなか触れ合う機会のない「お相撲さん」との交流に多くの市民が集った。多様な主体と実施することでお互いの強みを活かし、地域の活性化に寄与した。



南っ子すもうフェス

課題

- ・資格取得者の知識やスキルを活かした事業の展開が必要である。



令和6年度事業計画

- ▶ まちづくりの相談窓口であることの周知強化を図るため、各コミュニティセンターにて『まちづくり相談WEEK』を年4回実施する。
- ▶ よりニーズに沿った支援の実現を図るため、相談者や相談内容についての分析を行う。

事業報告

- ・ 市民活動に関する相談会 **7回**
- ・ まちづくりに関する相談 **115件**
- ・ 担当者会議 **6回**
- ・ 地域活動団体紹介カード…**41団体**の設置
- ・ 周知件数 **7件**

【まちづくり相談会、相談WEEK】

市民活動に関する相談会を**7回**実施した。また、今年度より新たに「相談WEEK」として各コミ**5日**の期間を設け、まちづくりや市民活動に関する相談を受けつけた。相談会では**1件**、相談WEEKでは合計**5件**の相談があった。



まちづくり相談WEEK

まちづくり相談WEEKチラシ

【まちづくり相談】

まちづくりに関する相談は個人や団体など合計**115件**となり、相談内容別では、指定管理に関する相談が**72件**と多かった。生活の中で困っていることや、サロンを始めたい、ファンド事業について知りたいなど、相談する場所はパートナーシップ活動支援センターであるという周知ができています。



まちづくり相談会

「地域活動団体紹介カード」

令和5年度より館内に掲示している「地域活動団体紹介カード」において、内容の変更等をこまめに更新することで、来館者に対し確実に情報を届けることができています。



地域活動団体紹介カード

成 果

相談会回数 目標7回	相談主体別件数 目標70件	周知件数 目標7件
7回 前年 3回 達成率100%	115件 前年 26件 達成率164%	7件 達成率100%

まちづくり相談内訳件数

個 人	団 体	企 業	行 政	区	学 校	その他	合 計
63	23	5	1	10	6	7	115

相談内容別件数（重複相談含む）

個人ボランティア情報	出前講座 依頼	NPO設 立関連	団体 運営	指定 管理	共働	事業講 座開催	その他	合 計
16	3	1	5	72	2	4	29	132

課 題

- ・ 相談対応の質の向上には、職員全体の相談対応力の強化が求められる。
- ・ 館内に設置している「団体紹介カード」について、効果的な活用につながない。



令和6年度事業計画

- ▶ 効率的な情報発信の仕組みを構築する。
- ▶ 地域で活動する団体や個人への活動支援となるような情報の収集及び発信を行う。

事業報告

《実施状況》

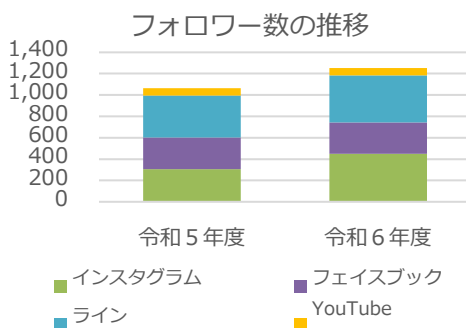
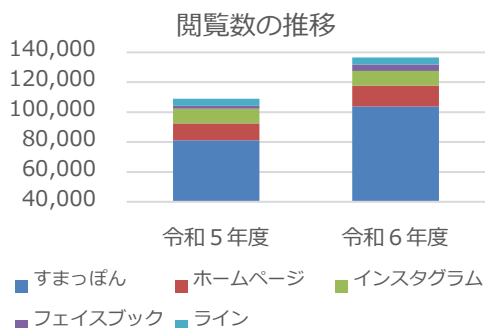
- ・ 担当者会議 **5回** ・ NPO広報講座参加 **1人**
- ・ 助成金情報提供回数 ホームページ**16回** インスタグラム **21回**

成果

ツールごとに担当を決め、集計・分析結果を担当者全員で共有することで、より効果的な発信について共通認識をもって取り組むことができた。また、Instagram・Facebookは、閲覧数が増加する投稿方法や、リンクを活用することで利用者に届きやすい広報を目指した。

まちづくりに関する研修の周知や、助成金情報を定期的に発信することで地域活動団体に対して必要な情報を届けることができた。

YouTubeにて、パートナーシップ活動支援センターがまちづくりに関する相談窓口であることを周知することができた。



Instagram

※すまっぽん：当日の施設の空き状況などがみられるアプリ風ホームページ

LINE
ターゲットリーチ
目標500人

438人
前年394人
達成率**88%**

Instagram
閲覧数
目標15,000PV

9,965PV
前年10,007PV
達成率**66%**

Instagram
フォロワー数
目標450人

450人
前年305人
達成率**100%**

Facebook
閲覧数
目標2,000PV

4,285PV
前年1,849PV
達成率**214%**

課題

- ・ 令和6年度に構築した発信方法を活かし、ブランディングの強化とフォロワー及び閲覧数の増加を目指す。
- ・ 地域団体や地域活動に関する情報発信が十分とは言えないため、発信方法の定着、活用について計画的に取り組む必要がある。



令和6年度事業計画

- ▶市や地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、新規登録者数達成のための情報収集及び周知啓発を行う。
- ▶買い物支援ガイドブックの掲載店舗を対象にアンケートを実施し、認知度及び活用の検証を行う。
- ▶買い物困難者に対する課題解決のため買い物支援に関する調査研究を行う。

事業報告

《実施状況》

- ・担当者会議 **5回** 作業部会 **1回**
- ・買い物代行「ごきげんお届け便」カタログ作成・配布 **4回**
- ・買いもの支援ガイドブック掲載店舗アンケート **1回**
- ・事業説明会 **2回**

【買い物代行「ごきげんお届け便」】

より多くの買い物困難者にお届け便を活用してもらうため、チラシを刷新し関係各所に配架したほか、電話注文の受け方の見直しを行い効率化を図った。

コミュニティ通信、SNSを通して広く周知するとともに、もやいネット南（区長、民生委員、地域包括、社会福祉協議会）にてお届け便の説明をした。

移動販売車やオンデマンドバスを導入している先進地区（宗像市）を視察し、買物支援に関する意見交換を行った。



刷新したお届け便チラシ



宗像市へ視察

●お届け便チラシ**500部**発行

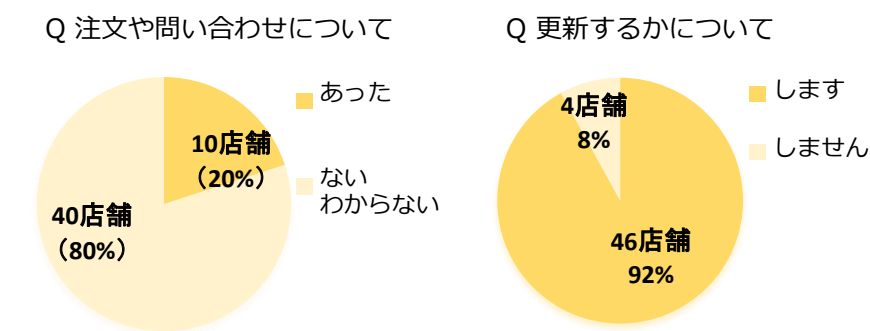
配架先➡28区の公民館、社会福祉協議会、各地域包括、市役所、もやいネット（民生委員）

【買い物支援ガイドブック】

令和7年度更新に向けて60店舗に継続のアンケート確認と47店舗の新規店舗へのアプローチを実施した。アンケートでは、20%の店舗にガイドブックを通して注文の問い合わせがあったとの回答があり、少しずつガイドブックが活用されていることがわかった。

【掲載店舗アンケート】 令和6年11月実施

掲載店舗数：60店舗（3店舗閉店） 回答数：50店舗 回答率：88%



買い物支援ガイドブック



新規店舗募集チラシ

●ガイドブックチラシ**2,000部**発行
配架先➡こども若者政策課、こども家庭センター、市総合窓口

成 果

新規登録者数 目標30人 13人 前年31人 達成率43%	注文件数 目標1,000件 959件 前年1,006件 達成率96%	周知件数 目標200件 388件 前年249件 達成率194%
---	--	---

3月末時点登録者139人

課 題

- ・新規登録者数の目標が未達となったため、情報提供の方法や関係者との連携を強化する必要がある。
- ・カタログの掲載方法（番号注文にするなど）を見直し、1件当たりの注文時間の短縮による事業の効率化が必要である。

令和6年度事業計画

- ▶魅力あるイベントの実施と親しみやすい空間演出を行い、稼働率の向上と継続的な利用を促す取り組みを行っていく。
- ▶施設管理業務に役立つ視察及び研修を行い、スキルアップを図る。
- ▶施設の整備・点検を確実に行之い、災害時に備え訓練や研修を実施し、対応力を上げる。

事業報告

《実施状況》

- ・担当者会議 12回
 - ・防災研修 10回
 - ・視察 1回
 - ・予防保全型維持管理委員会 4回
- ・絵本のおはなし会 16回
 - ・まどかぴあ図書館団体貸出 16回
 - ・ロビーコンサート 1回
 - ・夏休みこどもシールラリー 4回

【館づくり】

「絵本のおはなし会」の実施回数を増やすことにより、イベントの定着と認知度向上を図った。各コミ4回実施した「絵本のおはなし会」ではミニコンサートを組み合わせたり、国際交流協会と連携し、外国人ボランティアによるおはなし会を行うなど新たな取り組みを加え魅力度の向上を図った。また、今年度で3回目となる「夏休みこどもシールラリー」は子どもたちの間で定着しつつあり、夏休みの楽しみの一つとなっている。

今年度より導入した、まどかぴあ図書館の団体貸出は、月1回本の入れ替えが行われ、図書コーナーが充実したことにより、ロビーでくつろぎながら本や雑誌を楽しめる環境が整い、サービスの提供につなげることができた。



ロビーコンサート



夏休みこどもシールラリー



絵本のおはなし会

内容	回数	参加者数（前年度）
絵本のおはなし会	16	314人（63人）
ロビーコンサート	1	25人（令和6年度より実施）
夏休みこどもシールラリー	4	919人（840人）
計	21	1,258人（903人）



まどかぴあ図書館団体貸出



館内装飾（春）



館内装飾（初夏）

【視察・研修】

福岡市民防災センターへの視察研修ではVR火災体験や地震体験ができた。事前に疑似体験することで日頃の危機意識を高めることができた。

【施設の整備・点検】

予防保全型維持管理委員会を各コミュニティセンターで実施し、異常が見つかった箇所を市へ報告し、修繕計画に組み込むよう働きかけ予防保全につなげた。

可搬型発電機切替訓練を東コミで初めて実施し、実際に可搬型発電機から電力を館内に送る作業確認ができたことで、災害時の対応力が向上した。

成 果

利用者数
目標420,000人

457,810人

前年450,813人
達成率**109%**

稼働率
目標45%

48.5%

達成率**108%**

クレーム件数
目標0件

0件

前年0件
達成率**100%**

【利用者アンケート】令和7年2月実施

対象：4コミ施設利用者 回答：786人

内容	結果（前年度）
設備の整備状況（非常に満足）	48.6% （47.2%）
職員の接客態度（非常に満足）	57.5% （56.0%）

5段階評価で**最高評価となる「非常に満足」**が最も多く、前年度を上回ることができた。
イベントの充実と安全・安心な施設管理を行った結果、利用者数の増加と満足度の向上につながった。

課 題

- ・多様化する利用者のニーズに対応したイベント及びサービスの継続的な提供が求められる。
- ・災害時の対応力は一定の向上がみられるものの、防犯については引き続き取り組みの強化が必要である。
- ・施設の老朽化に伴う修繕等の増加に対応するため、業務の効率化及び人員配置の見直しが必要である。

令和6年度事業計画

- ▶地域・企業などと連携した魅力あるイベントを実施する。
- ▶コミュニティセンターを活用したイベントの実施により地域活性化を図る。
- ▶新規事業立案に向けた委員会を設置するとともに、中期基本計画の中間評価・見直しを行う。

事業報告

【指定管理に属する自主提案事業】

【生涯学習講座系】

事業名	実施日	参加者	参加 ボランティア
子ども商店街キッズ フリーマーケット	10/2（北コミ）	230人	0人
スマホ講座	12/12（東コミ）	14人	5人



10/6(土) 北コミにて
「子ども商店街キッズフリーマーケット」

【コミュニティセンター利用促進】

事業名	実施日	参加者	参加 ボランティア
PLACE AMIGO	6/14、11/8、2/7（中央コミ）	103人	11人
絵本のおはなし会	6月、9月、12月、3月 16回（各コミ）	314人	16人
夏休みこどもシールラリー	8月（各コミ）	919人	0人
サンタを探せ	12月（中央コミ）	50人	1人
フルートデュオ演奏会	1月（中央コミ）	25人	2人



6/14(金) 11/8（金） 2/7(金)
中央コミにて「PLACE
AMIGO」開催。毎回地域のボ
ランティアが入り、学生とのコ
ミュニケーションを図ることが
できた。

学生が近況報告に来るなど、若者の居場所としても定着してきた。



12/12(木)
東コミにて「スマホ講座」
開催。近隣企業と地域の
ボランティア5人がサポー
トとなり高齢者と交流を
図りながら進める事が
できた。



【共働のまち大野城自主事業】

令和6年5月
SORA-Q(変形型月面ロボットLEV-2)
のアンバサダー就任。各コミにてSORA-Qを使ったイベントを
実施し子ども達が宇宙や科学に興味関心を持つきっかけとなり、生
涯学習の場を提供することで、青少年の育成を図ることができた。

【中期基本計画中間評価・見直し】

令和4年度に策定した中期基本計画の中間評価・見直しとなる本年度は、「組織」「活動」「情報」「資金」「時間」5つの戦略ごとに職員間で意見を出し合い、進捗・課題の抽出を行った。



全体として多くの分野で目標達成に向けた確かな進捗がみられる一方、効果的な情報発信や財源の確保などさらに改善の余地がある項目も明確となった。



【今後の取り組み】

各評価の結果を踏まえ地域ニーズに即した事業展開をさらに強化し、職員のスキル向上や外部との連携を一層進め地域全体の活性化につなげていく。

【自主財源】

自動販売機手数料収益	1,300,134円
会費・寄付金	503,981円

新たに南コミに設置した飲料とお菓子の自販機



個人正会員

33名
(前年34名)

団体正会員

30団体
(前年30団体)

個人賛助会員

86名
(前年101名)

団体賛助会員

10団体
(前年13団体)

課 題

- ・デジタル化による業務効率化やSNSを活用した情報発信の強化など、時代の変化に即した取り組みが必要である。
- ・財政の健全性維持。

12

持続可能なまちづくりSDGsの取り組み

ごみの適正処理・発生抑制や資源の再利用・再生利用などに積極的に取り組んだ事業所として認定されました。さらに認定された事業所の中でも最も積極的に取り組んだ事業所として、大野城市からの表彰を受けることができました。



表彰の様子

【取り組み内容】

- ・市の分別基準に基づき廃棄物を処分している。
- ・廃棄物管理責任者を選任している。
- ・事業系一般廃棄物の減量及び再利用に関する計画書を毎年作成している。
- ・資料のペーパーレス化 ・マイボトル推進
- ・使用済みタオル、封筒等の再利用
- ・ペットボトルキャップの回収ボックスを設置し業者にリサイクルを依頼
- ・「キッズフリーマーケット」実施 ・ ・ など

